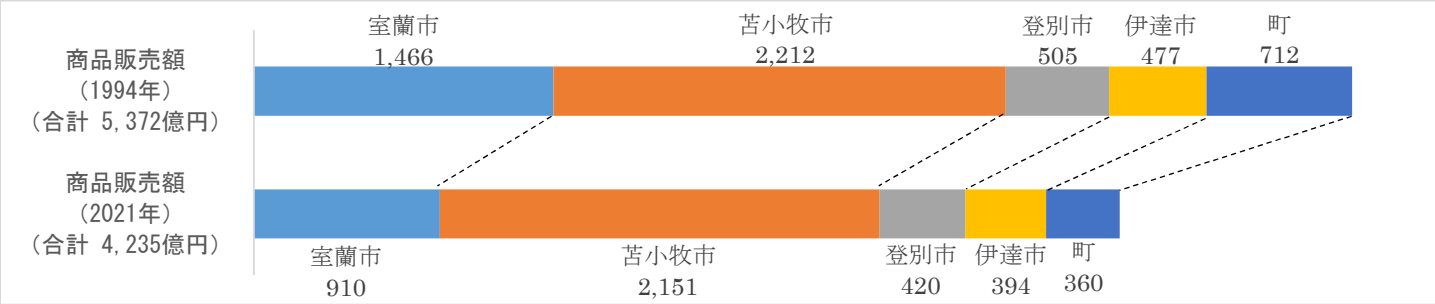
いぶりの商業

▼▲▼

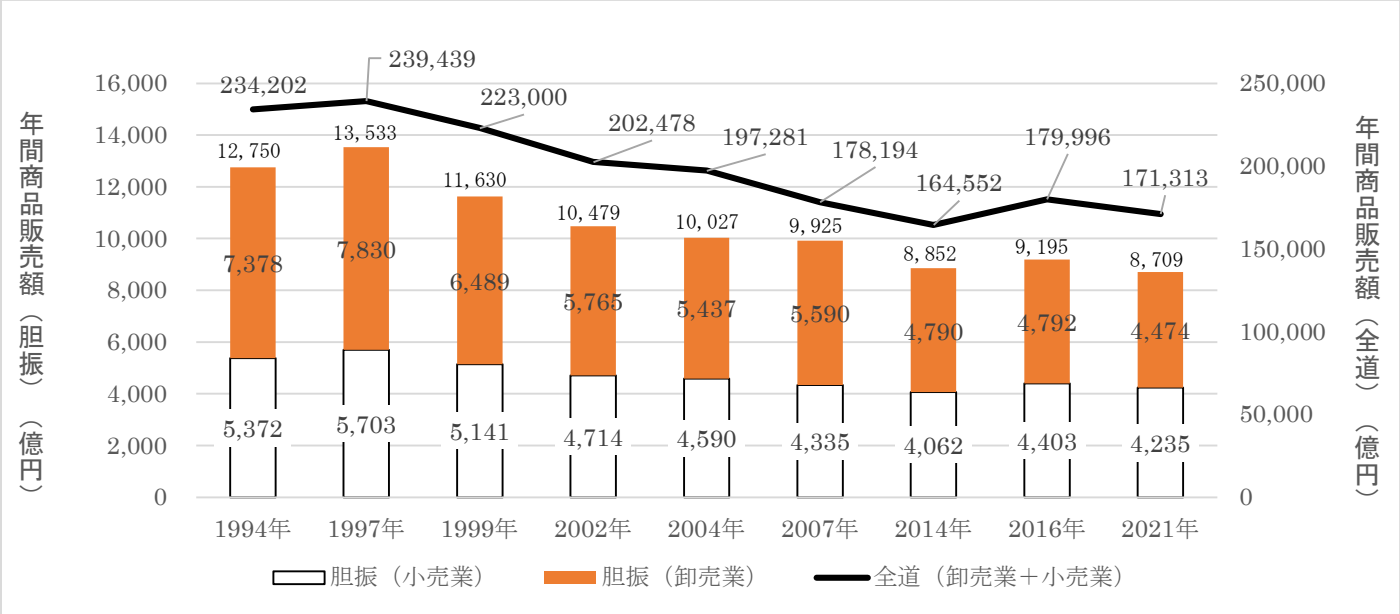
- 胆振の商業は、室蘭市や苫小牧市を中心に発展してきました。
- 卸売業の中心は室蘭市及び苫小牧市で、管内の卸売商品販売額の約９割を占めています。また、小売業においては、苫小牧市、室蘭市、登別市及び伊達市に大型店舗が集まり、４市の小売商品販売額の合計は管内の約９割を占めています。
- 1994 年には 712 億円あった町での小売商品販売額が 2021 年には 360 億円となり、胆振管内全体の商品販売額の減少率が 21%であるのに対し、町では 49%となっており、スーパーがなく地元での買い物が難しい地域もあります。
- 商品販売額については人口の減少や高齢化の進展とともに全道的に減少してきており、胆振管内においても同様に 1997 年を境に減少が続いています。
- 都市部においては、大型店舗の相次ぐ出店により消費者が買い物をする場所の選択肢が増加している一方で、中心市街地や地域の商店街の集客力低下や空洞化が進んでいます。そのため、各地の商店街においては、集客力を高めるため、地元の食材を生かし、人の往来を促す取組を実施しており、例えば、苫小牧市では「とまこまいホッキカレー」や「とまこまいカレーラーメン」、室蘭市では「室蘭やきとり」が文化庁の 100 年フードに認定されるなど、魅力ある商店街づくりに向けた取組が管内で活発化しています。

◎市・町別商品販売額（小売）



平成６年（1994 年）商業統計調査、令和３年（2021 年）経済センサス活動調査）

◎年間商品販売額の推移



（平成 26 年(2014 年)まで商業統計調査、 平成 28 年(2016 年)以降は経済センサス活動調査）